



令和元年6月3日

報道機関 各位

国立市役所市長室広報・広聴係

申込不要
費用無料
保育付き

毎年6月21日は「くにたち平和の日」

テーマ〈多様な人々とつながる扉をひらく〉
講演会「100年先の世界を見据えた
”平和創造”について」を開催

市では、本年4月1日に「国立市人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくり基本条例」を施行しました。人権と平和を市のあらゆる施策の根幹として位置づけ、「ソーシャル・インクルージョン（※）」の理念のもと、互いの多様性を認め合い人権を尊重する平和なまちづくりをめざしています。また、本条例に基づき、平成12年に制定した「国立市平和都市宣言」の告示日である6月21日を、「くにたち平和の日」としています。

そこで、10月24日（木）と25日（金）に国立市で開催する「第9回平和^{しゅちょう}首長会議国内加盟都市会議総会」に先駆けて、次のとおり講演会を開催します。

ぜひ、貴媒体での告知および取材・掲載方、お願いいたします。

（※）「ソーシャル・インクルージョン」とは、すべての人を社会的孤立や排除から守り、社会の一員として包み支え合い共に生きることです。

記

1. 日 時 第1部～第3部：6月21日（金）
午後6時～8時（開場：5時30分）
2. 場 所 くにとち市民芸術小ホール（国立市富士見台2-48-1）
3. 定 員 270名（当日先着順）



4. 保 育 1歳～未就学のお子さん4名（申込先着順）。
6月7日(金)午前9時～14日(金)の正午までに、以下の問い合
わせ先まで電話でお申し込みください。

第1部 「核兵器のない平和な世界の実現に向けた市民社会の役割
—広島・長崎の心を世界に そして未来に—」

講師：小溝 泰 義 氏

（（公財）広島平和文化センター 理事長、平和首長会議 事務総長）

第2部 「多様性って何だろう？ —出稼ぎ大黒柱を体験して—」

講師：小島 慶子 氏

（エッセイスト、東京大学大学院情報学環 客員研究員）

※各講師の詳細については、以下の略歴をご覧ください。

第3部 両講師と永見理夫市長による「トーク・セッション」

〈講師紹介〉



小溝 泰義氏

略歴 1948年生まれ。法政大学法学部卒業後、1971年外務省入省。国際原子力機関(IAEA)事務局長特別補佐官、条約法規課法規調査官、軍縮不拡散・科学部国際原子力協力室長、在ウィーン国際機関日本政府代表部大使、駐クウェート特命全権大使を歴任。2013年より(公財)広島平和文化センター理事長、平和首長会議事務総長。



小島 慶子氏

略歴 1972年オーストラリア生まれ。学習院大学卒業後、1995年アナウンサーとしてTBS入社。1999年「第36回ギャラクシーDJパーソナリティ賞」受賞。2010年TBS退社。タレント・エッセイストとして、ラジオ・TV・雑誌等の多様なメディアで活躍。著書に『さよなら！ハラスメント』など。2014年に夫と2児とともにオーストラリアに移住。



くにたち平和推進週間パネル展

市内にある一橋大学の卒業生有志が結成した「一橋いしぶみの会」では、平成 27 年から一橋新聞部^{いっきょう}の協力を得て、830 余名ともいわれる戦没学友のなかから毎年約 10 名の生涯を調査し、一橋大学「KODAIRA祭」^{こだいらいさい}でパネル展を例年実施しています。

今回は、平成 27 年度から 30 年度の展示内容より 11 名を抜粋し、次のとおり市役所内でパネル展を開催します。

展示期間 6 月 11 日(火)～27 日(木)

場 所 国立市役所 1 階 市民ロビー（国立市富士見台 2-47-1）

協 力 一橋いしぶみの会、一橋新聞部

※ 6 月 21 日(金)「くにたち平和の日」の式典の際には、くにたち市民芸術小ホール 1 階のロビーに展示します。

問い合わせ

国立市政策経営部

市長室長室平和・人権・ダイバーシティ推進係

TEL：042-576-2111（内線 256、229）